



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東 大

上場会社名 IDEC株式会社

コード番号 6652 URL <http://www.idec.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 船木 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理担当

(氏名) 西山 嘉彦

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-6398-2500

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,990	11.6	1,703	15.8	1,573	27.1	1,077	34.6
23年3月期第2四半期	15,223	54.7	1,470	—	1,238	—	800	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 486百万円 (207.3%) 23年3月期第2四半期 158百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	34.63	34.56
23年3月期第2四半期	25.73	25.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,319	25,257	67.3
23年3月期	37,195	25,255	67.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 25,112百万円 23年3月期 25,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	9.1	4,000	40.9	3,900	49.7	2,400	38.7	77.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ―社― （社名） 、 除外 ―社― （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

24年3月期2Q	38,224,485 株	23年3月期	38,224,485 株
24年3月期2Q	7,112,922 株	23年3月期	7,112,827 株
24年3月期2Q	31,111,629 株	23年3月期2Q	31,112,494 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13
4. 補足情報	14
(1) 連結業績概要	14
(2) 製品種類別売上高	14
(3) 販売地域別売上高	15
(4) 受注実績	16
(5) キャッシュ・フローの状況	16
(6) 設備投資額	16
(7) 減価償却費	16
(8) 研究開発費	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国を中心としたアジア地域にて堅調な成長を維持したものの、金融引き締めによる成長率の鈍化、欧州地域における財政問題の深刻化の影響等により、不透明感が増す状況となりました。一方、我が国経済においては、急激な円高の進行による企業収益悪化への懸念が強まったものの、東日本大震災の影響による生産活動の停滞から徐々に持ち直しの傾向が見られました。当社グループの所属する社団法人日本電気制御機器工業会の出荷高につきましても、前年同四半期に比べて、海外出荷高は僅かに減少したものの、国内出荷高は約5%増加したことにより、全体では増加となりました。

当社グループでは、当連結会計年度を2年目とする中期経営計画において、主力スイッチ事業の強化、中国事業の拡大と体質強化、LEDを中心とする環境関連ビジネスの推進に取り組んでおり、厳しい環境の中ではありますが、着実に成果につなげております。

そのような取り組みもあり、当社グループの国内売上高は、主力の制御用操作スイッチをはじめとする制御機器製品の需要拡大に加え、節電対策ニーズを受け、LED関連製品が好調に推移したことなどにより、前年同四半期に比べ、16億2千4百万円増収の111億2千9百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。海外売上高は、販売重点エリアである中国を中心としたアジア地域経済の好調を受け、前年同四半期に比べ、1億4千2百万円増収の58億6千1百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。その結果、連結全体の売上高は、前年同四半期に比べ、17億6千6百万円増収の169億9千万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

営業利益は、前年同四半期に比べ、増収効果による利益増により、2億3千2百万円増益の17億3百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

経常利益は、前年同四半期に比べ、増収効果による利益増や為替差損の減少により、3億3千5百万円増益の15億7千3百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。

四半期純利益は、当第2四半期連結累計期間において投資有価証券評価損を計上したものの、前年同四半期に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したことや当第2四半期連結累計期間に計上した新株予約権戻入益により、前年同四半期に比べ、2億7千6百万円増益の10億7千7百万円（前年同四半期比34.6%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における対米ドルの平均レートは、79.75円（前年同期は88.90円で、9.15円の円高）となりました。

(セグメント別の業績)

【日本】

成長戦略の一環として取り組んでおりますLED事業が、節電対策の追い風を受け大きく拡大したことに加え、主力製品である制御用操作スイッチ、安全関連製品などの制御機器製品群及び端子台などの制御用周辺機器製品群の需要回復が進んだ結果、売上高は、前年同四半期に比べ、16億2百万円増収の122億1千2百万円（前年同四半期比15.1%増）となり、営業利益は、前年同四半期に比べ、2億5百万円増益の9億9千3百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

【北米】

制御用操作スイッチを含む制御機器製品群やプログラマブル表示器およびプログラマブルコントローラを含む制御装置及びF Aシステム製品群が伸張した一方で、大幅な円高の影響を受けたことにより、円換算ベースでの売上高は、前年同四半期に比べ、1億2千6百万円減収の18億1百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。しかしながら、営業利益は、前年同四半期に比べ、2千4百万円増益の1億3千9百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

【欧州】

制御用操作スイッチを含む制御機器製品群やプログラマブルコントローラを含む制御装置及びF Aシステム製品群の需要回復により堅調に推移した結果、売上高は、前年同四半期に比べ、1千1百万円増収の3億3千4百万円（前年同四半期比3.6%増）となり、営業利益は、前年同四半期に比べ、1百万円増益の2千3百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

【アジア・パシフィック】

販売重点エリアである中国市場においては、前期より引き続き制御用リレー及び制御用操作スイッチなどの制御機器製品群の需要が好調に推移したことや、プログラマブルコントローラをはじめとする制御装置及びF Aシステム製品群が伸張した結果、売上高は、前年同四半期に比べ、2億7千9百万円増収の26億4千1百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。しかしながら、営業利益は、前年同四半期に比べ、4千9百万円減益の4億8千6百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

(製品種類別の売上高)**【制御機器製品】**

主として、主力製品である制御用操作スイッチや注力製品である産業用L E D関連製品が大きく伸長しました。

制御用操作スイッチにつきましては、主としてφ16mm、φ22mm、φ30mm取付穴タイプが伸長しました。φ22mm取付穴タイプは、2010年8月に新製品を投入し、シリーズ強化を図った「HWシリーズ」やアジア市場向け製品の「YWシリーズ」が大きく伸長しました。また、φ16mm取付穴タイプは、2011年5月に戦略製品である小形コントロールユニット「LBシリーズ」を発売し、新規ユーザーの獲得を目指しました。

産業用L E D関連製品につきましては、防水・防塵・防油タイプのL E D照明ユニットである「LF1Dシリーズ」や、冷凍・冷蔵ショーケース用L E D照明ユニット「LF1Eシリーズ」が大きく伸長しました。

その結果、売上高は、前年同四半期に比べ、4億9千7百万円増収の90億4千4百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

【制御装置及びF Aシステム製品】

主としてプログラマブル表示器が伸長し、プログラマブルコントローラについても堅調に推移しました。

プログラマブル表示器につきましては、2011年7月にシリーズ強化を図ったクラス最高輝度を実現した大形プログラマブル表示器「H G 3 Gシリーズ」や中形プログラマブル表示器「H G 2 Gシリーズ」が好調であったと共に、小形ティーチングペンダント「H G 1 Tシリーズ」についても堅調に推移しました。

プログラマブルコントローラにつきましては、「F C 5 Aシリーズ スリムタイプW e bサーバーC P Uモジュール」など、シリーズ強化を図った「M I C R O S m a r tシリーズ」が堅調に推移しました。

その結果、売上高は、前年同四半期に比べ、1千5百万円増収の22億2千5百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

【制御用周辺機器製品】

主として端子台、汎用コントロールボックスやスイッチング電源が伸長しました。

端子台につきましては、特にD I Nレール取付タイプの「B Nシリーズ」が大きく伸長しました。

汎用コントロールボックスにつきましては、特に防噴流タイプの「A G Aシリーズ」が大きく伸長しました。

また、スイッチング電源においては、小形汎用電源の新シリーズ「P S 3 Xシリーズ」を発売するなど、製品強化を図り、新規ユーザーの獲得を目指しました。

その結果、売上高は、前年同四半期に比べ、8千万円増収の26億5千3百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

【防爆・防災関連機器製品】

顧客対応力の強化及び海外規格適応製品の投入等に取り組む中、安全防爆バリア製品である「E B 3 Cシリーズ」などが大きく伸長しました。

その結果、売上高は、前年同四半期に比べ、1億1千6百万円増収の6億6千6百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

【その他の製品】

主として、コンビニエンスストアをはじめとする店舗照明やオフィス照明に利用される商業用L E D関連製品や、店舗用オーダーリングシステムおよび商品管理システム等で構成するH M I (H u m a n M a c h i n e I n t e r f a c e) ソリューションビジネスが大きく伸長しました。

その結果、売上高は、前年同四半期に比べ、10億5千6百万円増収の23億9千9百万円（前年同四半期比78.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末より1億2千3百万円増加し、373億1千9百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が3億4千7百万円減少したことと、投資その他の資産のその他に計上していた保証金が5億1百万円減少した一方で、有形固定資産が11億9千2百万円増加したことによるものです。

負債総額は、前連結会計年度末より1億2千1百万円増加し、120億6千1百万円となりました。これは、主に預り金が6億3千2百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が5億2千3百万円、未払法人税等が1億7千6百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、主に当期純利益の計上により利益剰余金が6億1千万円増加した一方で、為替換算調整勘定のマイナス残高が6億1千2百万円増加したことにより、前連結会計年度末より2百万円増加し、252億5千7百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より3億7千3百万円増加し、80億1千3百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、20億9千1百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が16億1千6百万円となったことや仕入債務が8億1千8百万円増加した一方で、預り金が5億8千6百万円減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億4千8百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の売却により8億5千8百万円の収入となったこと、定期預金の払戻により5億円の収入となったこと、敷金及び保証金の回収により6億2百万円の収入となった一方で、有形固定資産を取得したことにより25億8千4百万円を支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億5千3百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払により4億5千7百万円を支出したことと、リース債務の返済により9千4百万円を支出したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、25円68銭であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,139	8,013
受取手形及び売掛金	5,757	5,409
商品及び製品	3,667	3,403
仕掛品	685	864
原材料及び貯蔵品	1,983	2,151
繰延税金資産	680	643
その他	399	422
貸倒引当金	△34	△36
流動資産合計	21,278	20,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,580	5,063
機械装置及び運搬具（純額）	889	739
工具、器具及び備品（純額）	468	415
土地	4,406	6,628
リース資産（純額）	390	413
建設仮勘定	2,932	600
有形固定資産合計	12,667	13,859
無形固定資産	599	520
投資その他の資産		
投資有価証券	878	797
長期貸付金	5	4
繰延税金資産	754	754
その他	1,127	621
貸倒引当金	△114	△111
投資その他の資産合計	2,651	2,066
固定資産合計	15,917	16,446
資産合計	37,195	37,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,049	4,572
短期借入金	2,498	2,197
1年内返済予定の長期借入金	—	100
リース債務	162	162
未払法人税等	259	436
未払金	505	465
未払費用	1,203	1,268
預り金	1,426	794
その他	48	40
流動負債合計	10,153	10,037
固定負債		
長期借入金	—	200
リース債務	279	295
退職給付引当金	1,367	1,388
役員退職慰労引当金	57	57
資産除去債務	81	81
固定負債合計	1,786	2,023
負債合計	11,940	12,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,690	9,690
利益剰余金	13,786	14,396
自己株式	△6,395	△6,395
株主資本合計	27,138	27,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25	△8
為替換算調整勘定	△2,014	△2,627
その他の包括利益累計額合計	△2,039	△2,635
新株予約権	65	48
少数株主持分	92	96
純資産合計	25,255	25,257
負債純資産合計	37,195	37,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	15,223	16,990
売上原価	8,340	9,490
売上総利益	6,882	7,499
販売費及び一般管理費	5,411	5,796
営業利益	1,470	1,703
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	8	6
持分法による投資利益	—	6
受取賃貸料	44	46
助成金収入	1	—
その他	33	40
営業外収益合計	97	109
営業外費用		
支払利息	35	32
持分法による投資損失	5	—
為替差損	232	163
減価償却費	23	24
その他	33	19
営業外費用合計	330	239
経常利益	1,238	1,573
特別利益		
固定資産売却益	275	162
貸倒引当金戻入額	0	—
新株予約権戻入益	—	28
特別利益合計	276	190
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産廃棄損	0	36
投資有価証券評価損	—	110
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	156	—
特別損失合計	162	147
税金等調整前四半期純利益	1,352	1,616
法人税、住民税及び事業税	293	507
法人税等調整額	238	15
法人税等合計	532	523
少数株主損益調整前四半期純利益	819	1,093
少数株主利益	19	16
四半期純利益	800	1,077

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	819	1,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	16
為替換算調整勘定	△661	△623
その他の包括利益合計	△661	△607
四半期包括利益	158	486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145	481
少数株主に係る四半期包括利益	12	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,352	1,616
減価償却費	581	630
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	58	32
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	156	—
受取利息及び受取配当金	△18	△16
支払利息	35	32
為替差損益 (△は益)	79	71
持分法による投資損益 (△は益)	5	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	110
固定資産売却損益 (△は益)	△270	△162
固定資産廃棄損	0	36
売上債権の増減額 (△は増加)	△889	114
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,002	△278
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,010	818
預り金の増減額 (△は減少)	△24	△586
その他	149	30
小計	1,247	2,448
利息及び配当金の受取額	18	17
利息の支払額	△61	△66
法人税等の支払額	△34	△307
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,169	2,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△450	△2,584
有形固定資産の売却による収入	874	858
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
無形固定資産の取得による支出	△113	△15
定期預金の払戻による収入	—	500
長期貸付けによる支出	—	△1
長期貸付金の回収による収入	1	1
敷金及び保証金の差入による支出	—	△101
敷金及び保証金の回収による収入	—	602
その他	△1	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	308	△748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△304	△457
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	△300
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
リース債務の返済による支出	△91	△94
自己株式の売却による収入	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△897	△553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△370	△414
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	210	373
現金及び現金同等物の期首残高	6,654	7,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,864	8,013

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I. 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	
売上高					
外部顧客への売上高	10,610	1,927	323	2,362	15,223
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,989	36	0	1,408	3,435
計	12,600	1,964	323	3,770	18,658
セグメント利益	787	114	22	536	1,462

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,462
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益計算書の営業利益	1,470

II. 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	
売上高					
外部顧客への売上高	12,212	1,801	334	2,641	16,990
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,931	35	0	1,256	3,223
計	14,144	1,836	335	3,897	20,214
セグメント利益	993	139	23	486	1,643

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,643
セグメント間取引消去	60
四半期連結損益計算書の営業利益	1,703

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

① 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	平成23年3月期				平成24年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
売上高	15,223	154.7	31,159	138.8	16,990	111.6	34,000	109.1
営業利益	1,470	—	2,837	—	1,703	115.8	4,000	140.9
経常利益	1,238	—	2,605	—	1,573	127.1	3,900	149.7
当期純利益	800	—	1,730	—	1,077	134.6	2,400	138.7

② 四半期別推移

(単位：百万円)

	平成23年3月期				平成24年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	7,577	7,645	7,687	8,248	8,519	8,470	—	—
営業利益	727	742	647	719	864	838	—	—
経常利益	593	644	560	807	816	757	—	—
当期純利益	237	563	365	564	511	565	—	—

(2) 製品種類別売上高

① 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	平成23年3月期				平成24年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
制御機器製品	8,547	153.5	17,366	136.2	9,044	105.8	18,150	104.5
制御装置及び F Aシステム製品	2,209	186.1	4,437	158.4	2,225	100.7	4,550	102.5
制御用 周辺機器製品	2,573	146.3	5,315	132.7	2,653	103.1	5,400	101.6
防爆・防災 関連機器製品	549	108.4	1,258	130.5	666	121.3	1,400	111.2
その他の製品	1,343	164.2	2,781	144.6	2,399	178.7	4,500	161.8
合計	15,223	154.7	31,159	138.8	16,990	111.6	34,000	109.1

②四半期別推移

(単位：百万円)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
制御機器製品	4,308	4,238	4,359	4,460	4,835	4,209	—	—
制御装置及び F Aシステム製品	1,030	1,179	1,065	1,162	1,087	1,137	—	—
制御用 周辺機器製品	1,273	1,299	1,370	1,371	1,419	1,234	—	—
防爆・防災 関連機器製品	235	313	393	315	290	375	—	—
その他の製品	729	613	499	938	886	1,513	—	—
合計	7,577	7,645	7,687	8,248	8,519	8,470	—	—

(3)販売地域別売上高

①第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 2 四半期	前年 同期比	通期	前年比	第 2 四半期	前年 同期比	通期予想値	前年比
国内売上高	9,504	156.5	19,910	139.5	11,129	117.1	22,000	110.5
海外売上高	5,718	151.8	11,249	137.7	5,861	102.5	12,000	106.7
北米	1,914	122.7	3,735	114.2	1,789	93.5	—	—
欧州	1,283	185.1	2,539	160.7	1,294	100.8	—	—
アジア・ パシフィック	2,483	166.9	4,895	150.4	2,737	110.2	—	—
その他の地域	37	153.9	78	121.6	40	108.8	—	—
合計	15,223	154.7	31,159	138.8	16,990	111.6	34,000	109.1

②四半期別推移

(単位：百万円)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
国内売上高	4,742	4,762	4,920	5,485	5,484	5,644	—	—
海外売上高	2,834	2,883	2,767	2,762	3,035	2,825	—	—
北米	948	966	877	942	920	869	—	—
欧州	593	690	636	618	624	669	—	—
アジア・ パシフィック	1,270	1,212	1,231	1,181	1,469	1,267	—	—
その他の地域	22	14	21	20	21	19	—	—
合計	7,577	7,645	7,687	8,248	8,519	8,470	—	—

(4) 受注実績

(単位：百万円、%)

	平成23年 3 月期第 2 四半期				平成24年 3 月期第 2 四半期			
	受注高	前年 同期比	受注残高	前年比	受注高	前年 同期比	受注残高	前年比
日本	10,867	—	2,737	—	12,006	110.5	2,631	96.1
北米	1,932	—	144	—	1,719	89.0	85	59.1
欧州	361	—	136	—	326	90.3	126	92.7
アジア・ パシフィック	2,555	—	1,525	—	2,803	109.7	1,638	107.4
合計	15,716	—	4,544	—	16,855	107.2	4,482	98.6

(5) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	937	134	1,448	1,405	685	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291	600	△129	△316	△1,636	887	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362	△535	△355	△43	△515	△38	—	—
現金及び現金同等物期末残高	6,023	6,864	6,454	7,639	6,781	8,013	—	—

(6) 設備投資額

(単位：百万円、%)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 2 四半期	前年 同期比	通期	前年比	第 2 四半期	前年 同期比	通期予想値	前年比
連結	791	92.6	1,712	45.3	2,637	333.1	3,200	186.8

(7) 減価償却費

(単位：百万円、%)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 2 四半期	前年 同期比	通期	前年比	第 2 四半期	前年 同期比	通期予想値	前年比
連結	581	86.7	1,227	90.2	630	108.3	1,300	105.9

(8) 研究開発費

(単位：百万円、%)

	平成23年 3 月期				平成24年 3 月期			
	第 2 四半期	売上比	通期	売上比	第 2 四半期	売上比	通期予想値	売上比
連結	1,025	6.7	2,136	6.9	1,203	7.1	2,200	6.5